

千曲市景観計画について

○景観計画とは

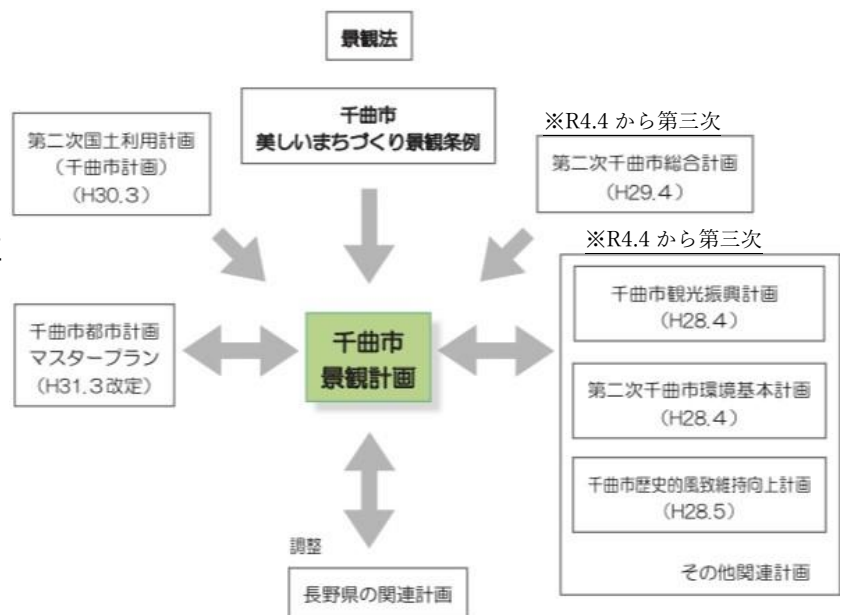
景観法第 8 条第 1 項において、景観行政団体は、都市、農山漁村その他市街地又は集落を形成している地域及びこれと一体となって景観を形成している地域における各種土地の区域について、良好な景観の形成に関する計画(景観計画)を定めることができると規定されており、千曲市景観計画は、景観形成の道筋となる基本的な方針や、施策並びに規制を定めております。

なお本市は、「景観行政団体」となり、平成 21 年に景観計画を定め、景観行政事務を行っており、県内では本市の他 28 市町村が景観行政団体となっております。

○景観計画の位置づけ

千曲市景観計画は千曲市美しいまちづくり景観条例(景観条例)第 1 条に掲げる目的を達成するため、景観法第 8 条並びに景観条例第 6 条に規定する景観計画として定めるものです。

また本計画は、景観行政を推進するためのマスタープランとして、総合計画及び国土利用計画に即し、その他関連計画との整合を図るものとします。



届出の審査手続

届出の審査手続は、下に掲げるフローに基づき行います。

○千曲市景観審議会の役割

千曲市景観審議会は、景観計画その他景観に関する事項について、市長の諮問に応じて調査審議を行います。

具体的には、景観計画の策定や変更及び関連計画への意見提出や、景観法第 16 条に基づく届出行為が景観形成基準に不適合となる行為に対する意見提出などを行います。

